

製品名: MELK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13817**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	MELK
別名	MELK; KIAA0175; Maternal embryonic leucine zipper kinase; hMELK; Protein kinase Eg3; pEg3 kinase; Protein kinase PK38; hPK38; Tyrosine-protein kinase MELK
遺伝子 ID	9833.0
SwissProt ID	Q14680
免疫原	抗血清はヒト MELK 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 431-480

背景

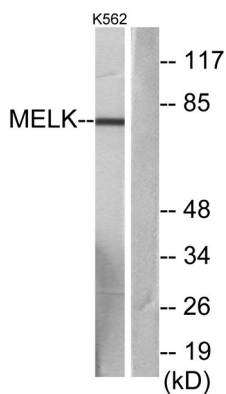
触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: ZNF622 をリン酸化して核への再輸送に寄与する可能性がある。

有糸分裂中のスプライソソームの組み立て阻害に関与している可能性がある。、PTM: 自己リン酸化。有糸分裂中の Thr-478 のリン酸化は PPP1R8 との相互作用を促進する。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。SNF1 サブファミリー。、類似性: KA1 (キナーゼ関連) ドメインを1つ含みます。、類似性: タンパク質キナーゼドメインを1つ含みます。、サブユニット: ZNF622 および PPP1R8 と相互作用します。、組織特異性: 胎盤、腎臓、胸腺、精巣、卵巣、腸で発現します。、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、機能: ZNF622 をリン酸化して、核へのリダイレクトに寄与する可能性があります。有糸分裂中のスプライソソーム組み立ての阻害に関与している可能性があります。、PTM: 自己リン酸化。有糸分裂中の Thr-478 のリン酸化は、PPP1R8 との相互作用を促進します。、類似性: SNF1 サブファミリー。、類似性: 1つの KA1 (キナーゼ関連) ドメインを含みます。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、サブユニット: ZNF622 および PPP1R8 と相互作用します。、組織特異性: 胎盤、腎臓、胸腺、精巣、卵巣、腸で発現します。、

研究分野

シグナル伝達

画像データ



MELK抗体を用いたK562細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。